

コード	20203
作成年度	25年度

基本事業評価表

基本事業名称	U・Iターン者の受け入れ体制の整備
--------	-------------------

総合計画の位置付け	
政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり
施策名称	ゆとりある住宅・住環境の整備

課コード	108	関係課名
主管課名	まちづくり推進課	

基本事業の目的

都市部の住民の田舎暮らし志向が高まる中で、人口の減少を少しでも抑制し、様々な経験を有する人材をUIターンにより本町に呼び込むことで地域の活性化を促すことを目的とする。

基本事業の成果

成果指標名称 1	UIターン者数	成果指標名称 2	来島者数
成果指標の積算根拠	目標受入数	成果指標の積算根拠	目標来島者数
目標達成年度	平成26年度	目標達成年度	平成25年度
目標達成数値	50組	目標達成数値	360人

年		度		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
成果指標 1	目標 A	単位	組	25	30	35	40	45
	実績 B		組	25	34	46	53	
	達成率 B/A		%	100.0	113.0	131.0	132.0	
成果指標 2	目標 A	単位	組	200	240	280	320	360
	実績 B		組	168	198	243	267	
	達成率 B/A		%	84.0	82.0	87.0	83.0	

1次評価	現状	田舎暮らし体験ツアーや移住希望者の個別案内を実施。町のホームページや、都市部でのイベントでチラシを配布してPRを実施している。また、町内のIターン者同士の情報交換の場として交流会を開催した。
	課題	UIターンを考えている人の相談件数は年々増加傾向にあり、定年を過ぎの人は勿論であるが、近年は若い世代からの問い合わせも多い。しかしながら、移住後の仕事がないことが一番の課題になっている。
	改善	定住促進事業を進めるためには、特に、就労支援策の制度化を検討する必要がある。また、現在、空家情報の登録件数が少ないので、職員等にも呼びかけ空家登録に努める必要がある。

2次評価	移住希望者の動向として働き世代が増えてきており、定住支援策として住まい情報・仕事情報など事業所等と連携し、受け入れ体制の整備を図ること。また、本町の素晴らしい景観、PRポイントを設定し、例えば定年を迎えた方々がスローライフを楽しむといった誘客方法も検討すること。
------	---

3次評価 住民等の意見	
----------------	--

町の対応	
------	--

※3次評価は、住民等の意見があった場合にのみ、再度公表するものとする。

◆基本事業を構成する評価対象事業◆

番号	評価コード	評価対象事業名称	担当課	平成24年度 直接事業費	評価の方向性
1	202030101	U・I ターン定住化支援事業	まちづくり推進課	657千円	(途中) このまま事業を継続
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
基本事業を構成する評価対象事業の合計事業費				657千円	